



3月の東だより

2024年2月28日発行

春を待ちわびていたかのように、戸外遊びやお散歩をいつも以上に楽しんでいる子ども達です。保育園の花壇のチューリップの芽も土から顔を出し始めました。そして、いよいよ今年度もあとわずかになりました。生活発表会を終え、1歳～4歳児クラスはこの1年を振り返るクラス懇談会を行いました。夕方の忙しい時間を作つて参加していただき、どうもありがとうございました。参加して頂いた保護者の方々からの言葉を大切に、次年度からも子ども達の笑顔のためにより豊かな保育が展開できるよう努力を重ねていきたいと思います。また、5歳児クラスは、2月に交野いわふねの森での太鼓フェスティバルへ参加して大きな舞台で演奏させて頂いたり、中宮小学校にて1年生のお店屋さんごっこ・授業に参加させて頂きました。小学校への期待も膨らみ小学校生活を楽しみにしている子ども達です。保育園最後のクラス懇談会を7日・卒園式を13日に控えています。卒園式に向けての準備を進めると共に、寂しいですが5歳児の子ども達との残りの日々を、楽しく充実した時間に出来るよう保育園のみんなで工夫していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

中宮まぶね保育園 園長 山本 真理子

日	月	火	水	木	金	土
3月の行事予定						
3	4 体育あそび教室	5 お別れ会 布団乾燥	6 太鼓教室 誕生日会 <small>(いっしょにあそひまじょう (地域子育て支援)</small>	7 卒園式予行 5歳クラス懇談 避難訓練	1 ひな祭り	2
10	11 体育あそび教室 (2-5歳)	12 英語あそび教室 (3-5歳)	13 第9回 卒園式	14 リトミック教室 (3・4歳)	15	16
17	18 体育あそび教室 (2-5歳)	19 布団乾燥 英語あそび教室 (3-5歳)	20	21 リトミック教室 (1・2歳)	22 保育協力日	23 休園日
24	25	26	27 無料法律相談	28	29	30
31						

3月生まれのおともだち



社会福祉法人 日本コイノニア福祉会

中宮まぶね保育園

〒573-0011 枚方市中宮山戸町15-1

TEL/072-840-2780 fax/072-840-3212

E-mail nakamiya-encyo@koinonia.or.jp

URL <http://www.koinonia.or.jp/nakamiya/>

《法人の理念》

本法人の理念「隣人愛」の精神に基づいて
福祉サービスを必要とするすべての人に
日々を支援し 常に人々の人権を護り
その人の尊厳を尊重します

《保育園がめざす子ども像》

- ◆自分で考え意欲を持って行動する子ども
- ◆相手を思いやることのできる子ども
- ◆健康で生き生きと遊べる子ども
- ◆豊かな感性を持ち、力いっぱい表現する子ども

「主よ、あなたの道を示してください。
私はあなたのまことの内を歩みます」
(詩編86編11節)

新年度に向けてのお知らせ

3月22日(金)は保育協力日

(保育の申請は締め切っています。
登園される方は給食がありませんので
お弁当を持参してください。)、
3月23日(土)は休園日となっております。



新年度準備のため、
3月21日(木)までに全ての荷物を
お持ち帰りください。(上靴等も全て)

25日(月)～30日(土)は
新保育室を使用します。
(とんぼ組はお遊戯室使用)
なお、保育は現担任で行います。
どうぞよろしくお願ひいたします。



今年度も
ありがとうございました!
来年度も
よろしくお願ひいたします。

今年も卒園・進級の季節を迎えました。卒園を迎えるクラスの子どもたちは、新しい生活への期待と不安を感じているのではないかでしょうか。誰でも見知らぬ土地で知らない道を探す時には不安を覚えます。そのため地図を見たりしますが、明確な道の決まっていない「人生という道」ではどうでしょうか。何が正解かは行ってみなければ分かりません。そんな時、大昔から人々は「神様、どうか道を示してください」と祈って来ました。私たちがどこを歩んでも、それは神様の御手の中であることには変わりがありません。言い換れば、いつでもどこでも神様は共にいてくださるということです。子どもが熱を出してる時に「大丈夫。そばにいるからね」と声をかけると、少し安心してもらえるように、私たちが今この道を選び、歩んでいる中でも、神様が一緒にいてくださると思えると元気が出てくることもあるのではないかと思います。行き止まりだったり、デコボコだったり、道を間違えたことに気付いたりしたら、また戻って来て違う道を進んだらしい。

入園した時のことを思い出すと、子どもたちもお家の方々も新しい環境に不安を感じておられたことと思います。それでも子どもたちは一人一人のペースで日々成長して来てくれました。またこの園での生活を安心して喜んで送ってくれているのだとしたら、それは職員にとっての何よりの喜びです。これからも神様からのお守りがありますようにお祈りしています。

チャプレン・牛田匡